

2025年度 第1四半期決算説明資料

対象期間：2025.4.1-6.30

2025年8月6日

2025年度 第1四半期 連結決算のハイライト

(億円)

	24年度 1Q実績	25年度 1Q実績	前年同期比	上期計画 進捗率	25年度 上期計画
売上高	2,787	2,735	△1.8% △51	46.4%	5,890
営業利益	204	177	△13.4% △27	44.9%	395
営業利益率	7.4%	6.5%	△0.9pt	—	6.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	139	100	△27.6% △38	44.9%	225
E P S	50.23円	37.27円	△12.96円	—	82.41円

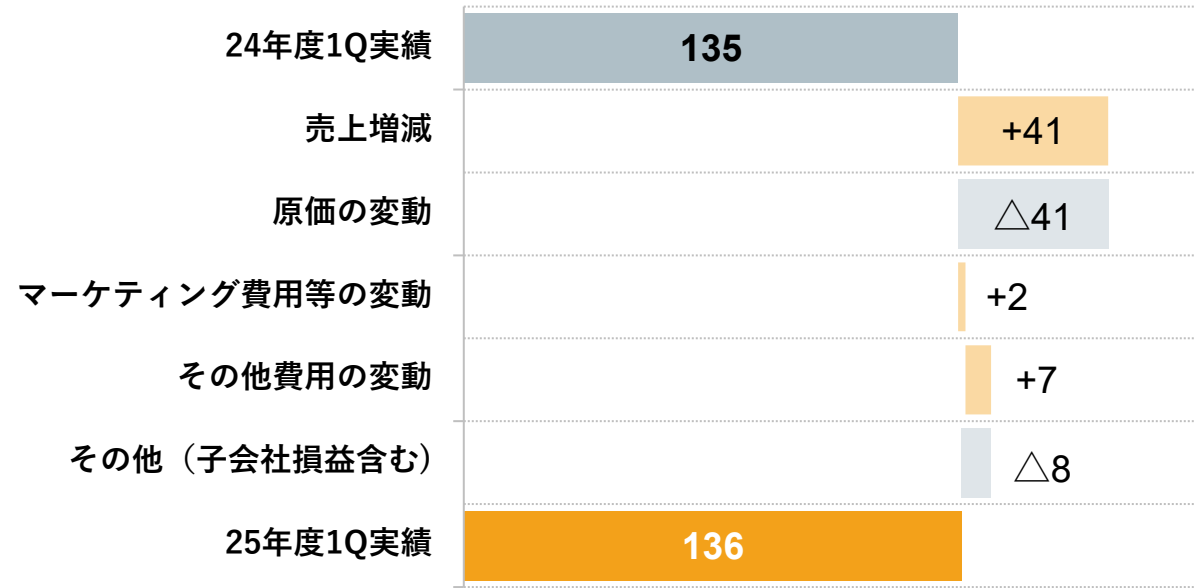
● 1Q実績：減収減益

- ・ 食品は売上高・営業利益ともに前年同期並み、医薬品は減収減益
- ・ 四半期純利益は減益。営業利益段階での減益に加えて、税金費用の増加が主な要因

食品：2025年度 第1四半期 決算概要

(億円)	24年度 1Q実績	25年度 1Q実績	前年同期比	上期計画 進捗率	25年度 上期計画
売上高	2,259	2,248	△0.5% △11	48.4%	4,647
営業利益	135	136	+1.1% +1	46.1%	297

営業利益 増減分析



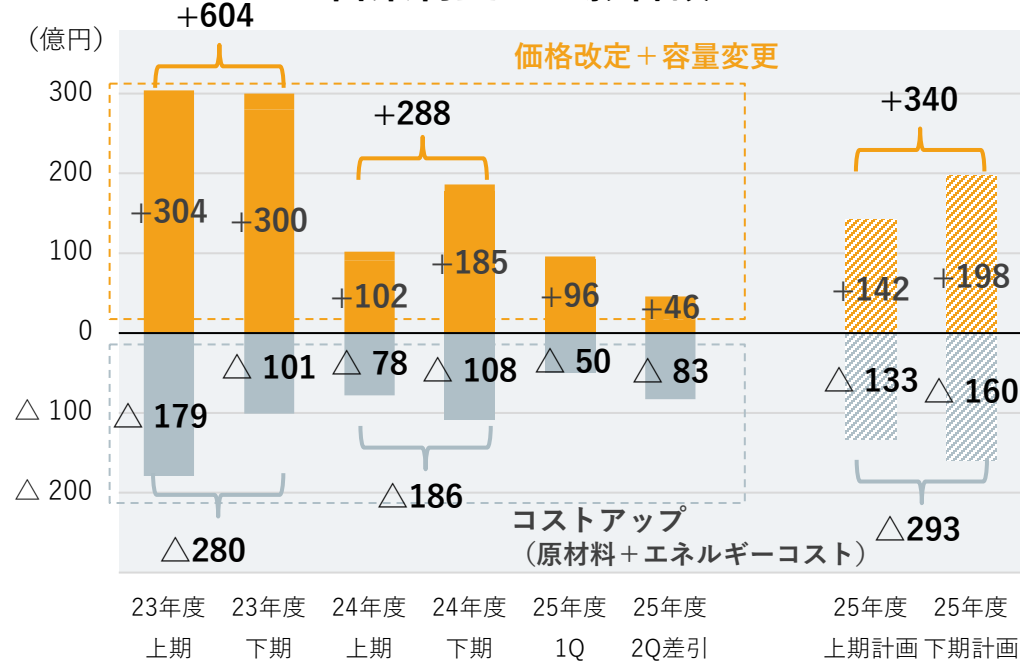
- ： 価格改定効果 + 92
数量やプロダクトミックスの変動など△51
- ： 原材料コスト増△45（国内生乳、カカオ豆など）
容量変更などによる原価低減+4
- ： 宣伝費の減少、販売間接費の増加など
- ： 一般管理費の減少など
- ： 海外事業拡大のための先行投資費用など

食品：2025年度 第1四半期 事業別営業利益 増減分析

(億円)	食品 全体	デイリー	カカオ	ニュートリ ション	フード ソリューション	その他
24年度1Q営業利益	135	48	22	41	16	5
売上増減	+41	△0	+36	△8	+17	△4
原価の変動	△41	△2	△20	△7	△10	△2
経費等の増減	+9	+10	△2	+2	△4	+4
マーケティング費用等 の変動	+2	+9	△2	△1	△4	+1
その他費用の変動 (内、研究開発費)	+7 (△1)	+0	+0	+4	△0	+3
その他 (子会社損益など)	△8	+4	△6	+3	△1	△8
25年度1Q営業利益	136	60	31	31	17	△4

食品：スピード感を伴ったコストアップへの対応を継続

営業利益への影響額



〈25年度の主な価格改定〉

25年6月	チョコレート ザバス（バー）	+10-36% +8-9%
7月	チーズ バター・マーガリン	+3-4% +3-11%
8月	ヨーグルト 飲料（牛乳ほか） ザバス（ミルク）	+2-17%
9月	アイス	+5-9%

- 1Qはカカオ原料や国内生乳を中心に50億円のコストアップ
- 2Qはさらにコストアップが進むが、上期計画に対しては想定通りに進捗
- カカオリカー内製化やスペック変更など、コストアップ対策に引き続き取り組む
- 数量減影響に対しては、既存ブランド強化・新商品投入に加えて、積極的なマーケティング投資でカバー

伝達力の強化

商品力の向上

- ・ マーケティング強化による、価格改定後の数量減の最小化
- ・ メリハリのあるマーケティング活動で需要を喚起

数量増につながる施策

- ・ 強いブランドのラインアップ拡大（事業の枠を越えた展開も）
- ・ 研究開発力・技術力を生かした新商品の発売やリニューアル

単価アップにつながる施策

食品：2025年度 第1四半期 事業概況

■ デイリー事業

(億円)	25年度 1Q実績	前年同期比	25年度 上期計画	前年同期比
売上高	669	△0.5% △3	1,373	+1.3% +17
うち、国内	660	△0.7% △4	1,353	+1.1% +14
海外	9	+12.4% +1	19	+17.7% +2
営業利益	60	+23.7% +11	107	+2.6% +2
うち、国内	66	+9.3% +5	129	+2.0% +2
海外	△5	— +5	△22	— +0

国内主力品の売上高※ (億円)

※ (株) 明治単体、収益認識基準適用前実績

	1Q実績	前年同期比	上期計画	前年同期比
プロバイオティクス	223	△1.3%	446	+0.3%
ヨーグルト	206	+5.2%	403	+2.7%
市販・宅配牛乳	190	△0.9%	424	+6.3%

■ 国内

● 市場 (1Q)

- ヨーグルト (機能性含む) : +3~4%
- 牛乳 : △3~4%

● プロバイオティクスは市販は堅調。宅配の回復が課題 (市販+0.3%・宅配△6.8%)

● R-1の市販向けは堅調 (市販+1.9%・宅配△5.1%)

● ブルガリアは主力のプレーンタイプが伸長

● 宣伝費の減少により増益

■ 海外

● 中国でリバイバルプランを着実に実行

● 2Q発売の「明治おいしい牛乳」の伸長に期待

● 不採算取引や販売体制の見直しなどが収益性改善に寄与

食品：2025年度 第1四半期 事業概況

■ カカオ事業

(億円)	25年度 1Q実績	前年同期比	25年度 上期計画	前年同期比
売上高	387	+3.9% +14	787	+6.4% +47
うち、国内	248	+9.8% +22	467	+5.1% +22
海外	138	△5.3% △7	319	+8.4% +24
営業利益	31	+37.2% +8	37	+20.4% +6
うち、国内	34	+72.2% +14	40	+61.2% +15
海外	△3	— △6	△2	— △8

国内主力品の売上高※（億円）

※（株）明治単体、収益認識基準適用前実績

	1Q実績	前年同期比	上期計画	前年同期比
チョコレート	252	+9.0%	470	+4.9%

■ 国内

- 市場（1Q）
 - ・ チョコレート：+8～9%
 - ・ グミ：+17～18%
- チョコレートは価格改定に加えて、チョコレートスナックなどの主力品が好調に推移
- グミは新商品が寄与し好調に推移
- 価格改定効果により増益

■ 海外

- 米国が好調に推移したものの、為替影響により減収
- 中国の原材料高騰などにより減益

食品：2025年度 第1四半期 事業概況

■ ニュートリション事業

(億円)	25年度 1Q実績	前年同期比	25年度 上期計画	前年同期比
売上高	291	△4.5% △13	640	+2.8% +17
うち、国内	262	△5.3% △14	580	+1.9% +10
海外	28	+2.9% +0	60	+11.6% +6
営業利益	31	△25.5% △10	81	△5.7% △4
うち、国内	30	△36.5% △17	84	△8.7% △7
海外	1	— +6	△3	— +3

国内主力品の売上高※ (億円)

※ (株) 明治単体、収益認識基準適用前実績

	1Q実績	前年同期比	上期計画	前年同期比
乳幼児ミルク・流動食	157	△7.6%	355	+2.4%
スポーツ栄養	133	△1.3%	279	+1.3%

■ 国内

● 市場 (1Q)

- スポーツプロテイン (飲料) : △1~△2%

● 乳幼児ミルクはインバウンド縮小により大幅減収

● 「ザバス (粉末)」は競争激化により減収

● 「ザバスミルク」は堅調に推移

● 原価アップに加え、減収により減益

■ 海外

● 台湾の乳幼児ミルクが伸長

● 前期発生した事業拡大のための先行投資費用の反動により増益

食品：2025年度 第1四半期 事業概況

■ フードソリューション事業

(億円)	25年度 1Q実績	前年同期比	25年度 上期計画	前年同期比
売上高	487	+1.2% +5	1,040	+4.7% +46
うち、国内	448	+2.6% +11	953	+2.8% +25
海外	39	△12.4% △5	87	+31.2% +20
営業利益	17	+10.1% +1	71	+79.6% +31
うち、国内	26	+9.2% +2	77	+24.9% +15
海外	△8	— △0	△5	— +16

国内主力品の売上高※ (億円)

※ (株) 明治単体、収益認識基準適用前実績

	1Q実績	前年同期比	上期計画	前年同期比
BtoB	235	+5.0%	482	+4.2%
市販チーズ	70	+6.3%	137	+5.6%
市販アイスクリーム	129	+0.8%	311	+2.7%

■ 国内

- BtoBは価格改定効果に加え、提案強化が増収に寄与
- チーズは主力のカマンベールチーズが好調に推移
- 市販アイスクリームは付加価値型商品が伸長
- BtoBの増収などにより増益

■ 海外

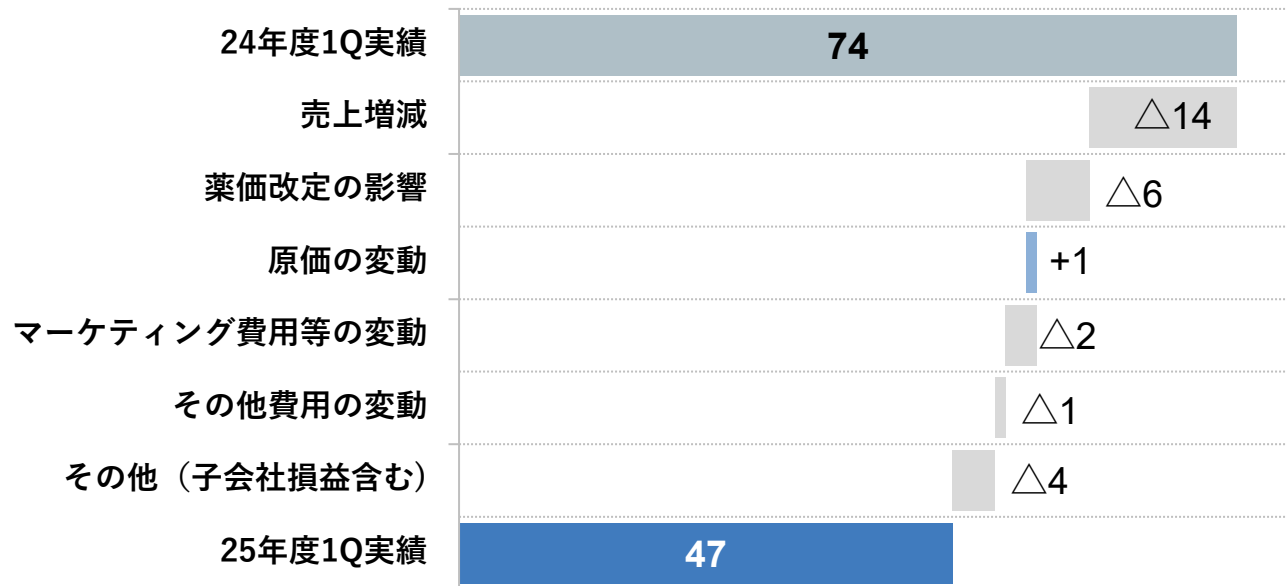
- 中国の業務用牛乳や市販用アイスクリームが減収
- 中国の市販アイスクリームの減収により減益

医薬品：2025年度 第1四半期 決算概要

(億円)

	24年度 1Q実績	25年度 1Q実績	前年同期比	上期計画 進捗率	25年度 上期計画
売上高	529	490	$\triangle 7.3\%$ $\triangle 38$	39.1%	1,253
営業利益	74	47	$\triangle 35.5\%$ $\triangle 26$	38.9%	123

営業利益 増減分析



： プロダクトミックス悪化、抗菌薬や受託製造品の減収

： 原価低減

： 普及費等の増加

： 研究開発費等の増加

： インドやスペインの子会社が減益

医薬品：2025年度 第1四半期 主要領域別概況

(億円)		25年度 1Q実績	前年同期比	25年度 上期計画	前年同期比
国内事業	感染症領域※1	90	△16.6% △17	233	+6.9% +15
	スルバシリン	28	△19.0% △6	78	+9.8% +7
	タゾピペ	19	+8.1% +1	52	+34.4% +13
	メイアクト群	11	△32.2% △5	39	+20.6% +6
	免疫炎症領域※1	81	+46.0% +25	129	+19.7% +21
	血漿分画製剤	46	+27.3% +9	70	+6.3% +4
	レズロック	20	+1,188.4% +18	24	+218.0% +16
	中枢神経系（CNS）領域※1	48	△28.8% △19	102	△6.8% △7
	ジェネリック医薬品※2	55	+6.2% +3	113	+13.7% +13
ワクチン・ 動物薬事業	ヒト用ワクチン	38	+13.3% +4	265	+21.9% +47
	インフルエンザワクチン	△6	— △0	171	+4.0% +6
海外事業		152	△18.3% △34	358	+6.7% +22

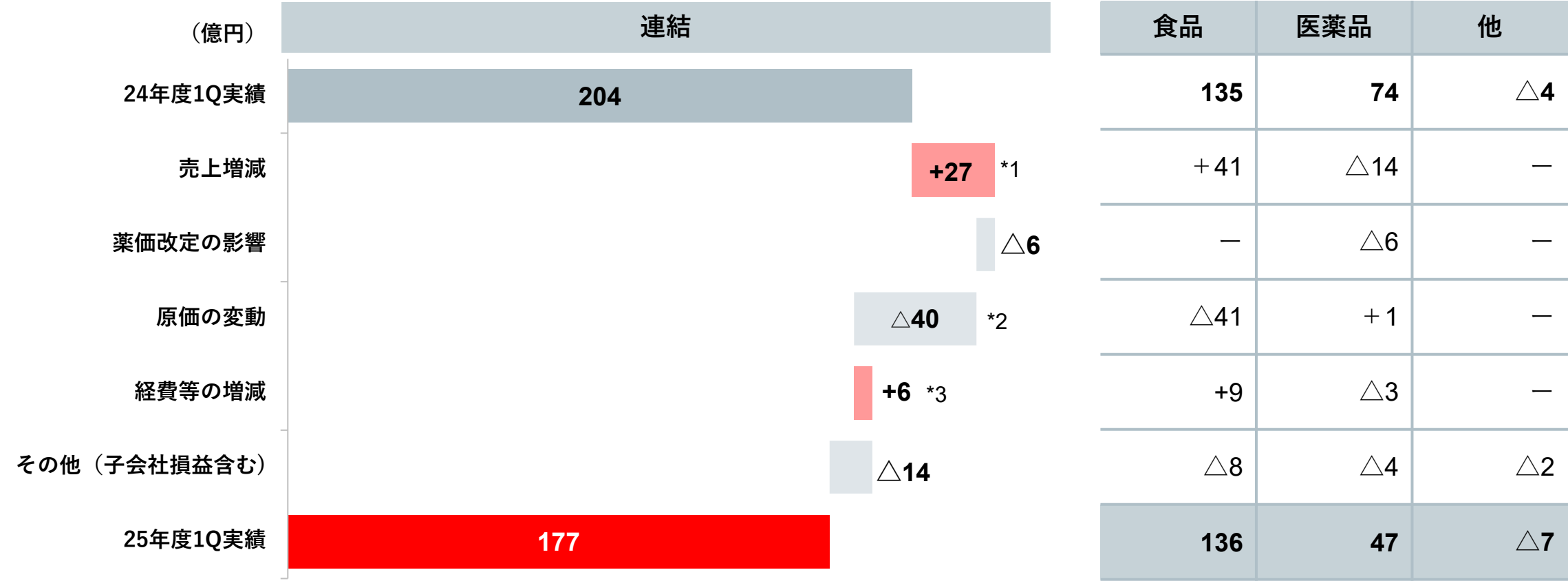
※1 各領域のジェネリック医薬品含む
※2 各領域に含まれないジェネリック医薬品のみ

2025年度計画：上期・通期ともに変更なし

(億円)	24年度実績		25年度計画			
	上期	通期	上期	前年同期比	通期	前期比
売上高	5,690	11,540	5,890	+3.5% +199	11,950	+3.5% +409
営業利益	443	847	395	△11.0% △48	910	+7.4% +62
営業利益率	7.8%	7.3%	6.7%	△1.1 pt	7.6%	+0.3 pt
親会社株主に帰属する当期純利益	268	508	225	△16.3% △43	540	+6.3% +31
EPS	97.66円	186.08円	82.41円	△15.25円	197.80円	+11.71円
1株当たり配当金	50.00円	100.00円	52.50円	+2.50円	105.00円	+5.00円
総還元性向	—	112.8%	—	—	—	—
ROE	—	6.8%	—	—	7.0%	+0.2 pt
ROIC	—	6.8%	—	—	7.0%	+0.2 pt
設備投資額	353	566	541	+53.1% +187	1,184	+109.2% +618
営業CF	37	689	—	—	700	+1.5% +10
フリーCF	△84	283	—	—	△490	— △773

参考資料

2025年度 第1四半期 連結営業利益増減分析



*1： 価格改定効果を含む

*2： 主な内訳 【食品】 原材料コスト増（国内生乳、カカオ豆など）△45、その他（容量変更など）+4
 【医薬品】 原価低減+1

*3： 主な内訳 【食品】 マーケティング費用等の変動+2、その他費用の変動+7
 【医薬品】 マーケティング費用等の変動△2、その他費用の変動△1

食品：2025年度 第1四半期 海外事業概況

地域別

(億円)

		25年度 1Q実績	前年 同期比	25年度 上期計画	前年 同期比
中国	売上高	59	△7.7% △4	148	+30.6% +34
	営業利益	△18	— +3	△27	— +19
アジア	売上高	64	△5.1% △3	160	+5.4% +8
	営業利益	6	+8.5% +0	6	△18.8% △1
欧米	売上高	91	△6.0% △5	204	+7.1% +13
	営業利益	4	+11.3% +0	5	△36.6% △2
海外計	売上高	213	△6.0% △13	486	+12.6% +54
	営業利益	△26	— △2	△35	— +11

中国事業

(億円)

	25年度 1Q実績	前年 同期比	25年度 上期計画	前年 同期比
売上高	59	△7.7% △4	148	+30.6% +34
デ일리	8	+12.2% +0	18	+19.1% +2
カカオ	16	+1.5% +0	45	+26.1% +9
ニュートリション	0	△99.5% △0	4	+288.0% +3
フードソリューション	35	△14.1% △5	79	+31.7% +19
営業利益	△18	— +3	△27	— +19
デ일리	△4	— +5	△15	— +3
カカオ	△6	— △2	△8	— △2
ニュートリション	△0	— +1	△2	— +0
フードソリューション	△7	— △1	△0	— +17

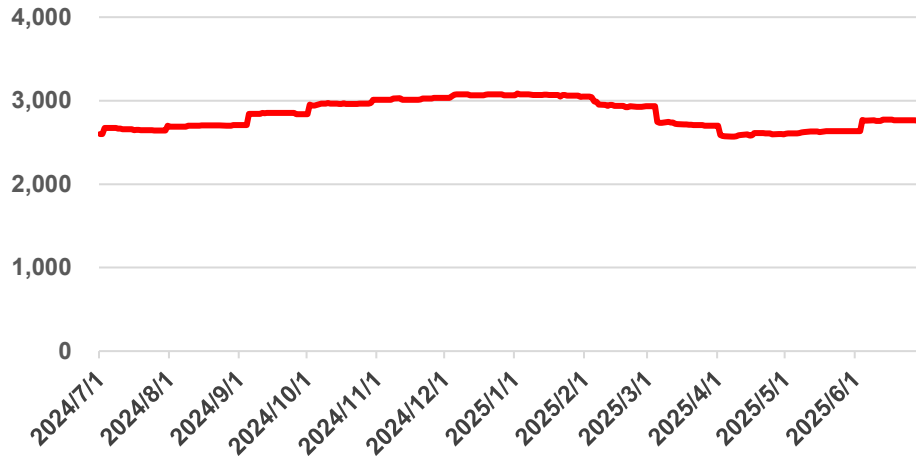
食品：2025年度 第1四半期 主力品の売上動向

(億円)	24年度 1Q実績	25年度 1Q実績	前年同期比	上期計画 進捗率	25年度 上期計画
プロバイオティクス ヨーグルト	226	223	△1.3%	49.9%	446
ヨーグルト	196	206	+5.2%	51.1%	403
市販・宅配牛乳	192	190	△0.9%	45.0%	424
チョコレート	231	252	+9.0%	53.7%	470
乳幼児ミルク・流動食	170	157	△7.6%	44.2%	355
スポーツ栄養 (ザバスミルク含む)	135	133	△1.3%	47.7%	279
BtoB	224	235	+5.0%	48.7%	482
市販チーズ	66	70	+6.3%	51.3%	137
市販アイスクリーム	128	129	+0.8%	41.4%	311

主要輸入原料相場の動向

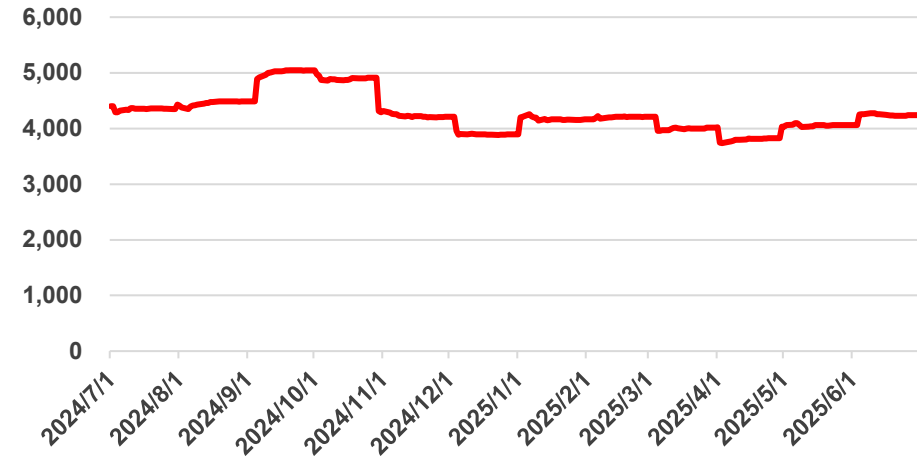
(USD/MT)

脱脂粉乳



(USD/MT)

チーズ



(GBP/MT)

カカオ豆



(USD/lb)

砂糖



医薬品：2025年度 第1四半期 事業別営業利益 増減分析

(億円)	医薬品 全体	国内	海外	ワクチン・ 動物薬
24年度1Q営業利益	74	61	30	△17
売上増減	△14	△12	△2	+1
薬価改定の影響	△6	△6	—	+0
原価の変動	+1	+1	+0	△0
経費等の増減	△3	△2	+3	△4
マーケティング費用等の変動	△2	△0	△0	△2
その他費用の変動 (内、研究開発費)	△1 (△2)	△2	+3	△2
その他 (子会社損益など)	△4	+3	△10	+2
25年度1Q営業利益	47	43	22	△18

医薬品：2025年度 第1四半期 事業別概況

■ 国内事業

(億円)	25年度 1Q実績	前年同期比	25年度 上期計画	前年同期比
売上高	275	△3.0% △8	579	+7.9% +42
営業利益	43	△28.4% △17	83	△23.3% △25

● 売上高

- ・ 受託製造品や「スルバシリン」「メイアクト」が減収
- ・ 24年5月発売「レズロック」や血漿分画製剤は伸長

● 営業利益

- ・ 減収やプロダクトミックスの悪化、薬価改定の影響により大幅減益

■ 海外事業

(億円)	25年度 1Q実績	前年同期比	25年度 上期計画	前年同期比
売上高	152	△18.3% △34	358	+6.7% +22
営業利益	22	△26.1% △7	23	△32.5% △11

● 売上高

- ・ 為替影響に加え、インドやスペインの子会社が減収

● 営業利益

- ・ インドやスペインの子会社の減収による減益

医薬品：2025年度 第1四半期 事業別概況

■ ワクチン・動物薬事業

(億円)	25年度 1Q実績	前年同期比	25年度 上期計画	前年同期比
売上高	62	+6.9% +3	316	+18.4% +49
営業利益	△18	— △1	17	△60.7% △26

- 売上高
 - ・ 5種混合ワクチンの増収
- 営業利益
 - ・ ワクチン普及費用の増加等により営業損失拡大

医薬品：開発パイプラインー1

	開発コード名（一般名）	薬効/作用	予定適応症	開発段階
感染領域	OP0595* （ナキュバクタム）	β -ラクタマーゼ阻害薬	カルバペネム系抗菌薬に耐性を示す菌株による各種感染症	Phase III（日本・海外）**
免疫領域	KD-380 （10%液状人免疫グロブリン）	血漿分画製剤	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（CIDP）患者及び多巣性運動ニューロパチー（MMN）患者の急性期治療、維持療法	Phase III（日本）
	KD-416* （血液凝固第X因子製剤）	血漿分画製剤	血液凝固第X因子欠乏症患者の出血傾向の抑制	Phase III（日本）
新領域	ME3208 （ベルモスジル）	ROCK2阻害剤	慢性移植片対宿主病(cGVHD)治療薬	発売（日本）：製品名 レズロック錠200mg （2024年5月22日発売） 発売（韓国）：製品名 REZUROCK Tablets （2024年11月発売） 承認（台湾） 申請（タイ）
	DMB-3115 （ウステキヌマブ後続品）	バイオ後続品	尋常性乾癬/関節症性乾癬/クローン病 /潰瘍性大腸炎	発売（欧州・英国）：製品名IMULDOSA （2025年1月以降順次発売） 承認（米国） 申請（海外） Phase I（日本）
	HBI-8000 （ツシジノスタット）	ヒストン脱アセチル化酵素（HDAC）阻害剤	切除不能または転移性悪性黒色腫治療薬	Phase III（日本・海外）**
	ME3183*	PDE4阻害剤	乾癬治療薬	Phase II（海外）
	HBI-8000 （ツシジノスタット）	ヒストン脱アセチル化酵素（HDAC）阻害剤	再発・難治性B細胞性非ホジキンリンパ腫治療薬	Phase Ib / II（日本）**

*自社創製

**国際共同治験

医薬品：開発パイプラインー 2

	開発コード名	薬効/作用	予定適応症	開発段階
ワクチン	コスタイベ筋注用	ワクチン	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防（成人・レプリコンワクチン）、16人用バイアル製剤	発売（日本） ※2024年9月13日に一部変更承認(オミクロン株JN.1)
	コスタイベ筋注用	ワクチン	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防（成人・レプリコンワクチン）、2人用バイアル製剤	申請（日本）
	コスタイベ筋注用	ワクチン	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防（レプリコンワクチン）	Phase III（12～17歳）（日本）
	KD-414	ワクチン	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防（成人・不活化ワクチン：起源株）	Phase III（18～40歳）**（日本）
	KD-414	ワクチン	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防（小児・不活化ワクチン：起源株）	Phase III（6か月～11歳）（日本）
	KD-414	ワクチン	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防（小児・不活化ワクチン：オミクロン株）	Phase III（6か月～12歳）（日本）
	KD2-396	ワクチン	百日せき菌、ジフテリア菌、破傷風菌、ポリオウイルス、ヘモフィルスインフルエンザ菌b型、B型肝炎ウイルスによる感染症の予防（6種混合ワクチン）	Phase II（日本）
	KD-382	ワクチン	デング熱の予防（4価弱毒生ワクチン）	Phase I（海外）

*自社創製

**国際共同治験

医薬品：開発パイプラインー 3

	開発コード名	薬効/作用	開発段階
動物用医薬品	ME4137	抗菌性注射剤（豚）	発売（日本）：製品名フォーシルS （2025年1月6日発売）
	KD-412*	ワクチン（牛）	承認（日本）
	MD-22-3002	抗炎症剤（牛、豚、馬）	承認（日本）
	ME4305*	抗菌性製剤（牛）	開発中
	MD-22-1001-1	抗菌性注射剤（牛）	開発中
	ME4406*	飼料添加物	開発中

* 自社創製

健康にアイデアを meiji

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いいたします。
- 本資料に記載された業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料には、薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。